

# 国際的な共同観測の推進

## 評価結果概要

第Ⅶ期計画における国際的な共同観測推進のため、6項目を重視して行われた。当初の計画通り、各国との共同観測や支援、また、南極条約非加盟国への機会提供などを積極的に行い、成果を挙げた。

## 実績・成果

### 国際極年 (IPY) 2007-2008に、南極地域で39件の国際プロジェクトに参加

特に、極限微生物分野のMERGR計画 (IPY No. 55) では、わが国の研究者が代表となって、24カ国約150名の研究者を結集し、リーダーシップをとった。



MERGE計画に参加したカナダ、スペイン、日本の研究者

### アジア諸国との連携

タイ王国の研究者等 2名を第51次隊の同行者として受け入れた。南極での調査の様子はタイ国内でも報道され、Post Today紙の2010年の5件の中に「タイ女性初南極研究への参加」として取り上げられた。



### 日本-スウェーデン共同トラバース観測計画 (JASE)

内陸氷床での雪氷学的調査をおこなった。  
片道全長約2800kmの側線を両国基地から総勢17名で雪上車により調査

